

イマ 日本の医療の現在

～慶應義塾大学医学講演会～

日本は、4人に1人が65歳以上の高齢者となるなど、「超高齢社会」を迎えています。また、平均寿命は女性87歳、男性81歳となる一方で、健康寿命は、女性75歳、男性72歳となっています。人類が経験したことのない高齢化に挑戦している「日本の医療の現在（イマ）」を、慶應義塾大学医学部より在留邦人の皆様にご説明いたします。

日時：2018年10月15日 午後5時半～7時

会場：在ドイツ日本国大使館・多目的ホール（領事窓口2階）

プログラム

- 1 睡眠研究の最先端ーストレス社会で健康を守るためにー
薬理学教授 安井 正人
- 2 百寿高齢者調査からみるヘルシー・エイジングの秘訣
百寿総合研究センター専任講師 新井 康通
- 3 世界的に見た日本の高齢化と我が国の取り組み
グローバルリサーチインスティテュート特任教授 中谷 比呂樹
- 4 質疑応答（全体質疑の後、参加の皆様の個別相談にも応じます。）

※ 言語：日本語

申し込み方法：参加者の、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、職業を記載し、taishikan-ryoujibu@bo.mofa.go.jpにメールください。また、当日は、本人確認のため身分証明書を忘れずにお持ちください。

申込締切：2018年10月4日（木）（応募多数の際、締切りを早める場合あり。）

講師紹介



薬理学教授 安井 正人

慶應義塾大学医学部卒
スウェーデン王国カロリンスカ研究所
米国ジョーンズホプキンス大学医学部
を経て、2006年より慶應義塾大学医
学部教授。



百寿総合研究センター 専任講師
新井 康通

慶應義塾大学医学部卒
英国ニューカッスル大学に留学、
2014年4月より現職。百寿者研
究など健康長寿の研究に長く携わ
る。



グローバルリサーチインスティ
テュート (KGRI) 特任教授
中谷 比呂樹

慶應義塾大学医学部卒
厚生労働省、世界保健機関
(WHO) 勤務を経て、2015年
6月より現職。

※ 慶應義塾大学医学部は昨年100周年を迎え、新たな100年に向けて歩
みを始めています。ベルリンは、福澤諭吉が訪れ、初代医学部長北里柴
三郎博士が数々の業績を上げた地であります。